

第2章 京都エコエネルギープロジェクト

1 プロジェクトの背景・趣旨

地球温暖化問題を解決していくうえで、CO₂を排出しない風力発電や太陽光発電など、クリーンで再生可能な自然エネルギーをはじめとする**新エネルギー***の普及を一層促進していくことが求められています。

このため、京都府では、**京都議定書***採択の地である「環境先進地・京都」の新たなシンボルプロジェクトとして、15年度から、新エネルギーの安定的な電力需給システムの研究・開発をめざす「京都エコエネルギープロジェクト」を民間企業や京丹後市と共同して進めています。

このプロジェクトは、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が全国で実施する委託研究事業（「新エネルギー等地域集中実証研究」～全国で3件を採択）として位置づけられたものです。

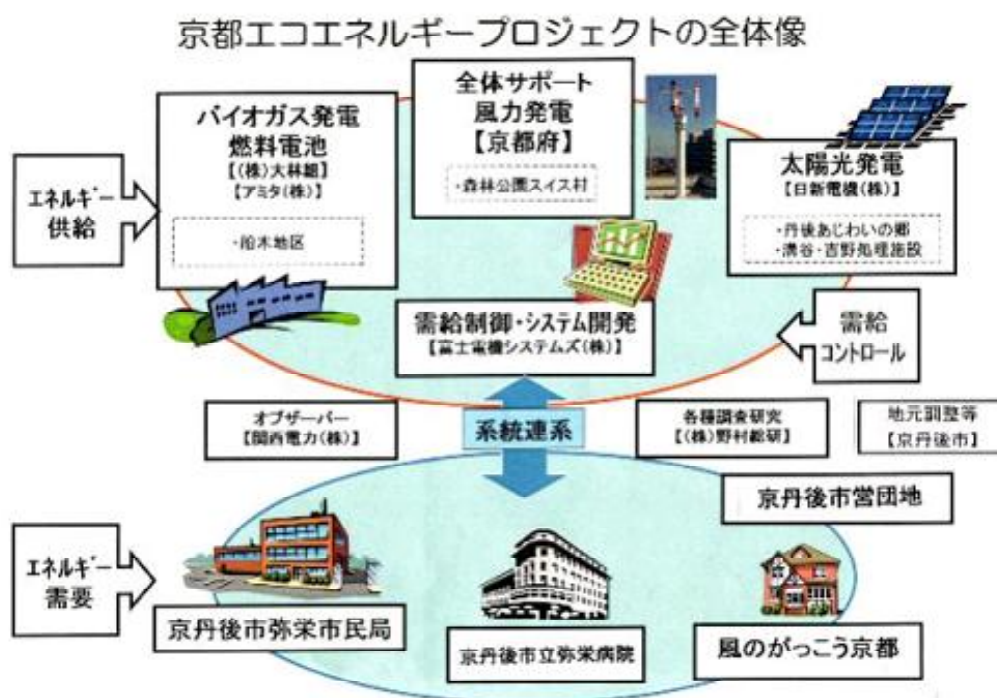
2 プロジェクトの目的・概要

風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーは、気象条件によって発電量が変動するなどの課題があり、その普及を図るためには、需要に応じて安定的に電力を供給することができるシステムの開発が必要となっています。

このため、このプロジェクトでは、風力発電や太陽光発電などの自然エネルギーに、**バイオガス***発電（ガスエンジン、**燃料電池***）などの新エネルギーを組み合わせることにより、需要に応じて安定的に電力を供給できるシステムの研究・開発（「新エネルギーによる地域分散型エネルギー供給システムの構築」）をめざしています。（15年度～19年度までの5年間の実証研究）

16年度には、太陽光発電施設が京都府農業公園丹後あじわいの郷（30 kW）と京丹後市の溝谷・吉野地区農業集落排水処理施設（20 kW）に完成するとともに、バイオガス発電施設と風力発電施設の建設に着工し、完成後の17年度から本格的な研究を行う予定です。

図1-2 京都エコエネルギープロジェクト（通称：KEEP）のイメージ



3 丹後エコネットワークの展開

このプロジェクトを契機に、美しい自然や地域資源の宝庫ともいうべき丹後地域において、環境との共生をテーマとする持続可能な地域社会づくりの取組を進めるため、住民、事業者、NPO、団体、行政等の幅広い参加による「丹後エコネットワーク」を組織し、持続可能な地域社会づくりに繋げていくための方策を検討し、地域内外に発信していくとともに、京都エコエネルギープロジェクト自体を、環境教育・環境学習の推進や地域産業おこし、**エコツーリズム***・観光の振興、循環型の地域社会づくりに活かしていく方策を検討していきます。

図1-3 丹後エコネットワークの展開イメージ

